

丹原地区タウンミーティング開催報告

| | | |
|---|--|---|
| 日 時 | 令和3年11月15日（月）19：30～21：00 | |
| 場 所 | 丹原公民館1階 ホール | |
| 参加者 | <p>【地域側：15人】池田自治会長、願連寺自治会長、上町地区自治会長、下町自治会長、今井自治会長、久妙寺自治会長、田野上方区東自治会長、北田野区東自治会長、老人クラブ丹原支部長、丹原地区婦人会長、丹原小学校PTA会長、体育協会丹原支部長、丹原東中学校PTA監事、民生児童委員丹原支部長、主任児童委員</p> <p>【行政側：5人】市長、丹原公民館長、総務部長、危機管理監、丹原総合支所長</p> | |
| 次 第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶（丹原地区自治会長代行：願連寺自治会長） 3 市長挨拶・事業説明 4 意見交換：テーマ「丹原総合支所の再編等について」（現状と課題説明及び参加者全員による話し合い） 5 まとめ・閉会 | |
| 概 要 | | |
| 自治会長挨拶 | <p>約2年間にわたってコロナ禍ということで、市長をはじめ、市関係者、保健所の方、医療機関従事者等、感染予防対策やワクチン接種に対して努力いただき感謝する。もちろん市民が生活の中で基本的な感染予防を守っていただけたというのも大きいのだと思う。これからも市の助言に協力し、若干の不自由は感じるが、対策を守っていきたい。</p> | |
| 市長事業説明 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策については、ワクチン接種の安全安心な環境整備と、市民生活を取り戻すため経済対策に重点を置く。 ・西条市の将来推計人口は30年間で約28%減少（2015年 108,174人 ⇒2045年 78,307人） ・人口減少対策として移住推進に力を入れており、みんなで「共創」して持続可能なまちを実現していきたい。 | |
| テーマに関する説明（自治会長） | <p>市から受ける住民サービスの一大拠点である丹原支所のサービスセンターへの変更がテーマとなっている。考えてみれば行財政改革の一環で止むを得ない面もあるが、地区住民としては影響がわからない。重大な変更だということにも受け取れるので、本日は忌憚のない意見を出し合って、協力できるように進めて参りたい。</p> | |
| 参加者の発言要旨 | | 市の発言要旨（及び対応） |
| <p><サービスセンター窓口について> サービスセンターになっても今まで通り相談事は受けてもらえるか。</p> | | <p>支所再編によるサービスセンターの業務内容について、現在詰めの作業をしている。 原則、サービスセンターでは窓口業務、住民票の交付、税の納付等の対応をする。各種の手続きによっては、業務縮小のため当日中に完了しないこともあると思うが、サービスセンターを起点に手続きが進行するように対応する。 相談内容によっては、センターから西部支所や本庁に繋いだり、モニターを通じてオンライン上で担当者と話したりすることを考えている。</p> |
| <p><行政サービスについて> 高齢化社会において、福祉サービスが低下することを心配している。高齢者や障がい者など、東予支所までの交通手段がない方もいる。 また、専門的な担当職員がいなくなれば、窓口の待ち時間がどんどん長くなるのではないかと懸念している。</p> | | <p>支所のあり方を検討する中で、地域包括支援センターの窓口を設けることとする。丹原地区においても、高齢者の皆さんの近くで総合相談業務を開始するので、これまで以上にきめ細やかな対応ができると考えている。 移動手段については、エリアをカバーできるようなデマンド交通をしっかりと計画していく。 窓口では、煩雑な手続きを一元管理できるようにサービスの向上を図る。例えば、公民館にタブレット端末等を設置し、来館者自身が直接操作するなど、手続きの簡略化に取り組みたい。</p> |

| 参加者の発言要旨 | 市の発言要旨（及び対応） |
|--|---|
| <p><支所再編による災害時の対応について> 丹原総合支所がサービスセンターになることで、職員の数も減るが、災害時の対応や人員配置はどうなるのか。</p> | <p>現在支所には34人の職員がおり、災害時には状況に応じて、主に丹原地区に住む職員を追加配置する体制を整えている。 支所再編後も、災害時における職員配置は同様の体制を確保する。</p> |
| <p><消防団拠点施設の整備について> 丹原分団の拠点施設について、災害が起きても危なくないような所に、新しく整備されるものだと思っていた。 しかし、支所の空きスペースに移すという説明を受けた。支所は築後40年余り経過しており、耐用年数を危惧している。 消防団長や丹原分団長、消防本部もそのことに了解しているのか。</p> | <p>人口減少の中、財政状況を踏まえると、何千万円もする施設を次々と建てることはできない。本市の公共施設は全体の55%が築30年を超えており、このままでは1.7倍の更新費が必要となる。 今後は、消防施設に限らず、公共施設は縮小するものの、機能を充実させる「縮充」の方向で取り組む。話が違うという点では、謝らなければならないが、これから厳しい選択をしていくこともあるだろう。 消防団の拠点施設は、これから協議を進めていく過程であるが、丹原総合支所2階の大会議室を改修して消防詰所として活用することを考えている。 その利点として、①災害時に2階に設置される「現地対策本部」と距離が近いため、情報共有を図りやすいこと ②トイレや給湯室も近く、詰所として活用できること ③新しい施設を建てるより経費が抑えられること ④支所の位置は水に浸からない想定で、比較的安全性が高いこと（平成29年度西条市洪水ハザードマップ「中山川氾濫想定」による）が挙げられる。 支所の耐震化はSRF工法で対応している。機能は重視していくので、リニューアルという形でお願いしたい。</p> |
| <p><周辺施設再編の意見交換会について> 9月末に開催された（丹原庁舎周辺施設の再編にかかると）意見交換会で出された意見に対する報告はあるか。</p> | <p>いただいた意見のうち、反映したいのは『支所2階のオープンスペースを展示場や交流スペースにする』、『保健センター2階を文化祭時の展示スペースにする』。 一方、反映が難しいと考えるのは『支所2階を福祉センターの2階に匹敵するオープンスペースにする』で、柱や壁を取り除くことは建物の強度を落とすことに繋がる。3階には図書館があり、5万冊の本があるため、強度を落とすことはできない。 また、『旧土木事務所跡地を残してほしい』という意見に対しては、良い活用方法を見出せておらず、現時点では払下げが一番良い案であると考えている。</p> |
| <p>支所2階のオープンスペースについて、耐震強度を落とすことを望んでいるのではない。 間仕切りなどをできるだけ少なくして、1か所に大勢の人が集まれるようなスペースを提案したい。</p> | <p>キャビネットや衝立は全て除き、目的に応じて使えるようなオープンスペースとなる。交流スペース、または会議室として使っていただけるように考えている。</p> |
| <p>農協の駐車場を公民館の駐車場と併合（または交換）してイベント広場として使うのはどうか。 また、施設再編により会議室が減っていく。公民館では狭い場合も出てくると思うので、何か方法はないか。</p> | <p>福祉センターは、解体しなくてはならないと思っている。解体により、駐車場として使えないか検討していく。 例えば、学校側にも理解を求めて体育館を使うことはできないだろうか。様々な形で稼働率を上げていき、遊休施設にならないようにしたい。</p> |

| 参加者の発言要旨 | 市の発言要旨（及び対応） |
|--|---|
| <p><児童クラブの対応について> 児童数は減少しているが、放課後児童クラブの利用は年々増えている。 児童クラブの責任者は学校ではなく、市である。万が一、事故やトラブルが起きた場合、サービスセンターに担当の職員がいなければ対応が遅れるのではないかと、責任の所在が心配である。</p> | <p>再編による心配はごもっともである。 連絡体制や責任の所在等について、これから運用していく中で課題があるかと思うので、柔軟に変えていくことも考える。 指導員には研修を受講してもらいながらも、もし事故やトラブルが起こった場合は、行政として対応する。</p> |
| <p><丹原中央公園の対応について> 立派な施設をつくっていただいたが、大勢の大人が長時間使用している状況が見受けられ、土曜日曜に子ども達が使えない状態である。 また、建設管理課がなくなると、わざわざ使用許可を西部（東予）支所まで行かなければならない。丹原のサービスセンターでも対応していただきたい。 公園の維持管理について、今後どのような体制になるか。</p> | <p>占有状態が目に見えるようなら、ルールを設けなければならない。 予約申請・使用許可については、アプリによる対応が可能かということも検討する。 維持管理については、理想は『みんなでやろう』だが、トイレ清掃など、地元の皆さんの負担が大きくなるようなら対応を考えていく。できることをやっていただけるようお願いしたい。</p> |
| <p><移住支援について> テレビ番組「日曜日の初耳学」で西条市の移住支援特集を見た。移住体験ツアーで飲食費まで無料というのはいかがなものか。</p> | <p>本市では、人口減少対策として移住定住促進に力を入れてきたが、そのようなご意見も受け止める。 ずっと同じやり方ではなく、変えていくことも必要だと認識している。</p> |
| <p><婦人会の活動について> 市内で県の連合婦人会に加盟しているのは周桑地域婦人会のみである。他地域にも加盟するよう助言していただきたい。 また、各地域の会員数も徐々に減少しており、高齢化も進んでいるので広報紙で年に1度は加入を呼びかけていただきたい。</p> | <p>西条市からは市連合婦人会に補助金を交付し、運営をお任せしている。 婦人会をはじめ、自治会や地域で活動する各種団体は、担い手の不足、役の固定化・高齢化など、様々な課題を抱え、組織を維持することが難しくなっている。 現在、市では、地域のコミュニティを維持していくため、地域自治組織の設立を推進しており、これからの地域をどうしていくかを皆さんと話し合っている。丹原地区においても地域の実情に応じたやり方を一緒に考えていきたい。</p> |
| <p>まとめ</p> | <p><市長> 地域のこと、自分たちの生活も含めて市民サービスのことを真剣に考えられている皆さんからの、真摯な意見をいただいた。できないこともあるが、変えなくてはならないものもあり、皆さんと一緒に考え「共創」していく。施設がなくなり面積は小さくなくても、サービスは維持していく。 市民の皆様との話し合いが大切で、この会議で終わりではなく、ご意見をお聴かせいただきながら、丁寧に説明していく。 今まで良かったの点という点があると思うが、転換の時期であり、皆さんと共に歩み、持続可能な西条市にしていきたいと思っている。 <丹原地区自治会長代行> 非常に良い意見が出されたと思うが、私としては一つ残念なのは、このご時世にIT化、DXの話題がなかった。時間と距離を平均化するのはIT以外にない。押印不要の書類の手続きなどは、メールでもやりとりが出来るようにしてほしい。役所に行かなくても、端末一つで可能である。それを住民サービスに取り入れることが第一歩だと思う。行政の効率を上げるためにも、ぜひ願います。</p> |

<当日の様子>

